

令和6年第1回定例夕張市議会

令和6年度 市政執行方針

令和6年3月7日

はじめに	1
1 安全安心な市民生活に向けて	2
2 持続可能な経済の体制づくり	4
3 子育てと教育環境の充実	7
4 健康寿命日本一へ	10
5 財政再建の締めくくりに向けて	11
令和6年度予算編成にあたって	12
むすびに	15

令和6年第1回定例市議会の開会にあたり、市政執行における所信と予算の編成方針を申し上げ、市議会並びに市民の皆様のご理解を賜りたいと考えます。

はじめに

令和5年度を振り返りますと、

まず、昨年4月に執行された市長選挙におきまして、「2期目の市政運営」という重責を担わせていただくこととなりました。市民の皆様のご負託に応え「小さくても強く輝く、安心と希望のまち夕張」にするため全力を傾注することをお約束した次第です。

また、昨年9月には、かねてより若菜地区に建設を進めてまいりました市立診療所及び介護医療院が供用開始となりました。地域の中核的な医療機能を担う医療拠点として、また私が目指す健康寿命日本一の一翼を担う施設として期待するところです。

更に、本年1月、石川県能登地方において最大震度7を記録する大地震が発生しました。改めて、震災でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方、今もなお現地で避難生活を続けておられる方々へお見舞いを申し上げます。

平成30年9月に発生した胆振東部地震を経験した私どもにおいても、災害は他人事ではないということ、日頃からの備えが重要であることを改めて認識した次第であります。

さて、令和6年度は、任期4年のうちの2年目にあたりま

す。

初年度で種を播き、2年目で育て、3年目で花を咲かせ、4年目で収穫するのを1サイクルと考えると、重要な「育成の年」にあたります。

これから新年度を迎えるにあたり、私が重点的に進めてまいりたい施策について申し上げます。

1 安全安心な市民生活に向けて

一点目は「安全安心な市民生活に向けて」の施策であります。

まず「市民へのいち早い情報伝達」ですが、災害や感染症などが発生した場合、市民へのいち早い情報提供が必要です。

市政情報の提供は「広報ゆうばり」や「市公式ホームページ」で行っておりますが、広報は、月1回の発行であることからタイムリーな情報提供には難しい媒体です。

それを補う手段として、従前より市の公式 X（旧 twitter）により「防災情報」「観光情報」「熊の出没情報」等を提供してまいりましたが、市民に広く活用していただけるまでに至っておりません。

そこで、パソコンやスマホをあまり使われない方でも緊急の情報を取得できるよう、テレビのデータ放送を活用した夕張市の情報提供サービスを始めます。

併せて、現在も普及に努めておりますが、プッシュ型通知システムであるスマホの防災アプリについて、市民のみならず

市外に離れて暮らす家族についても利用拡大を呼び掛け、防災啓発の多層化に努めます。

また、市公式ホームページは本年4月にリニューアルいたします。市民の皆様にとってより判りやすくより使いやすい仕様に変更したうえで、情報発信を行ってまいります。

次に「新たな公共交通体系の構築と推進」についてですが、

本市の公共交通は、市内南北軸を結ぶバス路線を中心に、限られた交通資源を活用し、デマンドバス、タクシー乗車代金補助制度などにより、その体系を維持しているところですが、近年、コロナ禍による想定以上の利用者の減少だけでなく、交通事業者の担い手不足などにより公共交通を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。

こうした中、市外線の一部路線廃止に伴い昨年10月から市外線デマンド交通の実証実験運行を行っておりますが、各地区での説明会などでいただいた地域の皆様からのご意見、ご要望に対しては、乗り継ぎを考慮した時刻表の作成や停留所の追加など、できることから随時、改善に取り組んでまいりました。

また、令和6年度中には24人乗りバスの購入による安定した乗車定員の確保、タクシー乗車代金補助制度の実施個所の追加や運行ルート追加変更による交通接続の改善などのほか、2月に実施したアンケート調査の結果も踏まえ、引き続き利便性の向上に取り組んでまいるとともに、令和5年度末に策定する夕張市地域公共交通計画を基に、交通事業者などとも協議しながら、引き続き将来にわたる市内外の持続可能な公共交通体系の構築を目指してまいります。

次に「将来に向けた廃棄物処理の取組」についてであります
が、

現在、市の廃棄物を埋立処分している富野じん芥埋立処分地施設については、令和4年度に埋立可能期間の調査を行ったところ、令和8年度中には埋立てが行えなくなることが明らかになったため、令和5年度において、埋立容量のかさ上げを行う設計図の作成などを専門業者に委託し、埋立可能期間の延長を図るための準備を進めてまいりました。

令和6年度においては、前年度に実施した設計を基にかさ上げ工事に着手し、埋立処分地施設の延命化を図ってまいります。

しかしながら、現施設の埋立容量のかさ上げだけではいずれ限界となることから、他自治体との連携も視野に入れながら、将来にわたって持続可能な廃棄物処理体制構築のための検討を進めてまいります。

2 持続可能な経済の体制づくり

二点目は「持続可能な経済の体制づくり」の施策であります。

まず、「市内商工業者の活性化支援」についてであります
が、本市の商工業においては、撤退・廃業を余儀なくされた事業者がいる一方、新規創業した事業者も複数おり、安心して事業を継続できる環境を構築することが必要だと考えております。

これまでも、既存事業者及び新規創業者への支援として、「創業等支援事業」や「資格取得支援事業」を実施するほか、「夕張市企業開発促進条例」に基づく支援や、国・北海道などの支援制度の情報提供等のサポートを実施してまいりましたが、地域に根差した事業運営が将来にわたって継続できるよう引き続き支援していくとともに、商工会議所とのさらなる協力体制の下、市内商工業者と積極的に連携してまいります。

次に「未利用工業団地の活用促進」についてであります。市内工業団地の活用促進に向けては、既存の地域産業を守り育てることはもちろん、積極的な企業誘致を実施することも必要であると考えております。

先ほど申し上げたとおり、市としましては市内商工業者への各種支援等のほか、商工会議所とのさらなる連携により、新たな産業創出や雇用機会の環境構築を目指しておりますが、未利用工業団地の活用促進については、市内企業への工業団地活用に向けた積極的なアプローチのほか、新規大型事業の需要にも迅速に対応できるよう、現在工業団地を所有している企業へ今後の活用見込みについてヒアリングを実施し、今年度より市HPで公開している「夕張市事業用地データベース」へも反映するなど、新たな雇用の場を創出する体制を構築してまいります。

次に「魅力的な『道の駅』整備に向けた取組」についてであります。

道の駅「夕張メロード」は、本市における南の玄関口として、交流人口の拡大に向けた非常に重要な役割を担っておりますので、休憩機能のみならず、情報発信機能や地域連携機能な

どの道の駅としての機能の維持・強化に向けた取り組みを進めてまいりました。

具体的には、令和3年度及び4年度は、施設内のリニューアル事業を実施し、令和5年度には道の駅運営団体と市内事業者が協働して「道の駅YUBARIメロードフェスタ」が開催されました。今後も、市民と連携した道の駅魅力向上の活動に対し、市も継続的にサポートしてまいります。

また、課題となっている24時間トイレや駐車場等の整備につきましても、国等と具体的な整備手法を含めた調整を継続し、早期実現に向けて全力で取り組んでまいります。

これらの取組を着実に進めることで、「四季を通じた夕張の魅力の発信拠点」、「市民、観光客の交流拠点」、「地域住民の生活を支える拠点」として、魅力ある「道の駅夕張メロード」の実現を目指してまいります。

次に「観光資源を最大限に活かす観光推進体制の構築」についてであります。

観光施策につきましては、市内に既に存在している観光資源を最大限に活かすため、市といたしましても、観光関係団体と協議を重ね、今後の観光推進に向けた課題と目標を共通認識していくとともに、観光施設を運営する事業者とも連携しながら、新たなアイデアの創出や観光戦略の策定を目指すべく、一丸となった観光推進体制を構築する取組を加速させてまいります。

こうした取組を継続することで、誘客促進活動の強化を図り、着実な関係人口拡大及び地域活性化につなげてまいります。

次に「将来に向けた夕張メロン安定生産の基盤づくり」につ

いてでありますが、

本市の地域経済を支える基幹産業である農業、その基幹品目である「夕張メロン」は、生産者の高齢化や雇用労働力の不足などが課題となっていることから、多様な担い手や人材の確保に向け、昨年11月に開始した生産者、農業関係機関と三位一体となった協議を今後も進めてまいります。

農業経営を担う人材の確保に努めるとともに、誰にとっても働きやすい環境の整備を着実に進め、世界に冠たるブランドとして確立された「夕張メロン」を安定的に生産できるような基盤づくりに引き続き取り組んでまいります。

3 子育てと教育環境の充実

三点目は、「子育てと教育環境の充実」に関する施策であります。

まず、本市の子どもたちの課題である「確かな学力の定着と向上」についてであります。

令和6年度は小中一貫教育をスタートさせ、学びの質の向上を図り、課題の克服に取り組んでまいります。

小学校と中学校を合わせた9年間を通して、一貫性・系統性のある教育活動を充実させ、ICT機器の更なる効果的な活用等を通じ「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現に努め、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を伸ばす授業づくりを推進します。

また、昨年度から開設しているタブレット端末を活用した

「ゆうばりサポートオンライン塾」の利用促進に努め、自ら学びに向かう力や確かな学力のより一層の定着と向上を目指します。

次に「小中各教室へのエアコン配置による教育環境の整備」についてであります。

昨年、比較的冷涼な本市においても、これまで経験したことのない猛暑に見舞われ、子どもたちの学校生活にも大きな影響を及ぼしました。8月下旬には連日「熱中症警戒アラート」が発令され、危険な暑さを理由に午前授業に日課変更し、その対応に苦慮いたしました。

このような状況を早期に改善し、子どもたちの安心安全を第一に考え、令和5年度に財政再生計画を変更することで冷房設備導入にかかる経費を予算措置いたしました。今年の夏まで工事を完了すべく鋭意取り進めてまいります。

次に「夕張子ども会議の推進」についてであります。

所信表明でも述べましたとおり、先行き不透明で複雑化、多様化するこれからの社会を逞しく生き抜く力を身に付けて欲しいとの思いから、子どもたちとの対話を実現すべく本年2月にゆうばり小学校において「ゆうばり子ども会議」を実施しました。今後も、小中学校で子どもたちと一緒に夕張の未来を考え、語り合う場面を増やし、思考力・判断力・表現力や情報活用能力等の一層の向上を目指します。

次に「夕張高校魅力化事業の推進」についてであります。

これまで、夕張高校存続のため、「夕張高校魅力化事業」を市の主要施策と位置づけ進めてまいりました。

その一環として、これまで関係者による戦略検討会議において、夕張高校の総合的な探究の時間における夕張独自の魅力的なカリキュラムづくりのベースとなるグラデュエーションポリシーづくりに取り組んでまいりましたが、令和6年度は、専門家のサポートも受けながら、独自カリキュラムの実施に向けて取り組むことで、夕張高校の更なる魅力向上に取り組んでまいります。

しかしながら、市内児童生徒数は減少傾向にあることから、夕張高校存続のためには、地元進学率の向上を最優先としつつも市外からの生徒の受け入れが急務となっております。

このため、昨年6月に夕張高校入学者の全国募集が認められたことから、夕張市として、地域みらい留学に参画し、合同説明会に参加するなど全国に向けてPRの実施と同時に、市外からの生徒を受け入れるための生活環境の整備を進めてまいりました。令和6年度からは市内の空き物件を活用した男女別の寮の運営にも取り組んでまいります。

市外から夕張高校へ入学を希望する生徒もいると聞いており、高校魅力化事業が目に見える成果として現れております。地元から夕張高校に進学する生徒も含めて、夕張高校に通う生徒やそのご家族に、夕張高校を選んでよかったと思っただけのよう、今後も地域一体となって夕張高校魅力化事業を推進してまいります。

次に「子育てサポートの推進」についてであります。出産子育て応援事業として、令和5年度に全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように、妊娠期から出産・育児まで一人一人の状況に合わせ一貫して相談に応じる『伴走型相談支援』事業を開始しました。

その一環として、時間や休日を問わずにスマートフォンで相談ができる『オンライン相談事業』を令和5年度に導入したところであり、利用者からは感謝の声が寄せられております。今後とも個々に寄り添った『伴走型相談支援』に努めてまいります。

また、保護者の経済的負担の軽減のため、妊娠・出産時における給付金、夕張はぐくみ応援ギフトを一体的に進めるとともに、保育所等保育料については、所得階層の細分化や、同時入所時における第2子目以降の保育料の減免を行った結果、令和5年度で保育所利用世帯の約8割の負担軽減を行ったほか、徴収の対象となっている500名余りの児童全ての副食費無償化を行ったところであり、令和6年度においても引き続き保護者負担の軽減に取り組んでまいります。

4 健康寿命日本一へ

四点目は、「健康寿命日本一」に向けた施策であります。

令和5年度において、健康増進計画『健康ゆうばり21（第2次）』、夕張市自殺対策計画（第2期）、第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定し、令和6年度より健康寿命延伸に向けての本格的な取り組みを始めてまいります。

健康ゆうばり21（第2次）では全市民を対象に生涯にわたり健康で心豊かに住み続けられるよう4つの基本施策と14の領域について今後の方向性を取りまとめました。

生活習慣病の重症化予防と、介護予防としてのフレイル予防

の2つを軸に取り組みをすすめ、令和6年度はフレイル予防として、『高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施』を進めます。

これまで、担当部署ごとに行っていた健診、疾病の重症化予防、介護予防の既存事業を、「高血圧」や「骨折」といった健康課題毎の取組みに再構築し、

高血圧ハイリスク者への保健指導の強化、健診や医療に罹っていない健康状態不明者の状況把握、介護予防運動講座の更なる周知、住民主体の通いの場を利用した、骨折予防をはじめとしたフレイル予防講話や、介護予防事業を拡大しながら、筋力低下予防のための運動実技を実施します。

また、夕張市民はがんによる死亡が全国に比べ多い傾向にあることから、令和6年度は検診項目の見直しを行い、より多く市民に積極的にがん検診を受けていただけるよう努めます。

疾病・介護予防の取り組みに当たっては、『健康管理システムを活用』により、支援対象者の健康状態を把握することは勿論のこと、家族の健康状態、健診履歴を把握することで、世帯レベルでの健康増進を図ることが可能となることから、引き続きシステムの活用を通し市民の健康増進に努めてまいります。

5 財政再建の締めくくりに向けて

主な施策の最後は「財政再建の締めくくりに向けて」であります。

本市の財政再建に向けては再生振替特例債を着実に償還することが肝要であります。令和5年度分の償還を終えたことで残額が約75億円となり、あと3年で償還が完了するところまでまいりました。

令和6年度においても引き続き着実に再生振替特例債の償還を行うとともに、財政再建後の財政運営を見据え、あらゆる機会を通じて職員一人ひとりの予算執行に対する基本的な理解の促進と、財政規律遵守の意識の醸成を図りながら、一歩ずつ財政再建の締めくくりに向けて歩みを進めてまいります。

また、本市においては、これまで、通常の業務に加え、国が示す『感染症対策』『経済対策』『情報政策』等に係る自治体業務を加えたうえで、限られた職員数で行ってまいりました。

今後においては、財政再建完了に伴う派遣職員数の減少等も考慮しながら、将来に向けた職員数の検討とその確保に努めてまいります。

加えて、業務の効率化や多様性のある働き方の構築により、職員が働きやすい環境をつくるため、テレワークをはじめとした庁内のDX推進について検討を行います。

さらに職員の育成については、従前の派遣研修やオンライン研修の活用に加え、職員が職員にノウハウを伝習する研修も実施し次世代に繋げる活動も行ってまいります。

令和6年度予算編成にあたって

令和6年度の予算編成について申し上げます。

平成29年3月に総務大臣より同意を得た「財政再生計画の抜本的見直し」後、8年目にあたる予算編成にあたっては、限られた財源の中で、引き続き経費の全般について適正化を図り、着実に財政再建を推進するとともに、地域の再生に向けた効果的な政策展開を図る観点からとりまとめを行い、財政再生計画の変更を行ったうえで、予算に計上いたしました。

その結果、一般会計の令和6年度の予算規模は、変更前の財政再生計画を10億円程度上回る102億6,167万2千円となったところであります。

一般会計予算に計上した事務事業のうち、主なものについて申し上げます。

まず、安全安心な市民生活に向けた経費としまして、

- ・地上デジタル放送を活用した市民向け広報の実施に係る経費
 - ・市外線デマンド交通の運行改善に係る経費
 - ・富野じん芥埋立処分地のかさ上げ工事に要する経費
- などを計上したところであります。

次に、持続可能な経済の体制づくりの経費としまして、

- ・市内工業団地内未利用地の活用促進のための経費
- ・夕張農業サポーターの募集及び受入等雇用労働力確保を支援する経費

などを計上したところであります。

次に、子育てと教育環境の充実のための経費としまして、

- ・市外から夕張高校に入学する生徒を受入れるための経費
- ・タブレット端末を安定して授業で活用できるよう小学校

の通信ネットワークを更新する経費

- ・産婦人科・小児科オンライン相談などの出産・子育てにおける伴走型相談支援の強化に係る経費

などを計上したところであります。

次に、健康寿命日本一へ向けた経費としまして、

- ・集団検診でのがん検診の充実のため検診項目の追加に係る経費
- ・高齢者の居場所である老人福祉会館の魅力を高めるための施設改修などの経費
- ・高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施するための経費

などを計上したところであります。

次に、各特別会計につきましては、それぞれの制度に基づく事業経費を、収支の均衡が図られるよう財源を考慮しながら、予算編成を行ったところであります。

また、公営企業会計である水道事業会計については、厳しい経営状況が続きますが、持続可能な事業運営に向けて、経費削減や収納対策の徹底を図りながら、安全で安定した水道水の供給に努めてまいります。

公共下水道事業会計については、本年4月1日から法を適用した公営企業会計に移行いたします。厳しい経営が予想されますが、水道事業と同様に適切な資産管理を行い、経費削減や収納対策の徹底を図り、下水道事業の安定・継続に努めてまいります。

むすびに

財政再建を行っている本市において、多額の借金を返済するという観点では全20年間の行程のうち17年が過ぎようとしています。先ほども申しましたが、再生振替特例債の償還完了まであと3年を残すばかりとなり、ゴールテープも見え始めてまいりました。この間の市民の皆様のご理解とご協力には真に感謝申し上げます。

一方で、『まだ75億円あまりも借金が残っている。』とも言えます。気を緩めることなく、引き続き堅実かつ着実な財政運営に努めてまいります。

夕張市は、財政の再建とともに人口減少、少子高齢化、老朽インフラ、空き家対策など旧産炭地が共通して抱える多くの課題を一步一步克服しながら、市民の皆様の地域生活を支えるまちづくりを進めてまいります。

令和6年度においても最大限の知恵を巡らせ、汗をかき、市民の皆様が今後も安心してこのマチで暮らしていけるよう仕事を進めてまいります。

このことを通じ、2期目の市長就任時に所信表表明の中でお約束した5つの約束を果たすための『育成』年にいたします。